（様式第１）

公益財団法人岡山県産業振興財団

　理事長　小林　健二　様

|  |
| --- |
| （申請者） |
| 所在地(住所) |  |
| 名　称(屋号) |  |
| 代表者役職氏名 |  | 　 |

よろず支援拠点伴走支援事業（岡山県よろず支援拠点）

申請書

上記事業について、募集要項第５条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

１．申請の内容

　　別紙「支援要請書」のとおり

２．添付書類

　（１）決算書（直近２期分）

　（２）その他関係書類

（別紙）

**支援要請書**

**１．申請者の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地(住所) | 〒　　‐ |
| 名称(屋号) |  |
| 申込責任者連絡先 | （役職）　　　　　　　　　　（氏名）（E-mail）（TEL）　　　　　　　　　　（FAX） |
| 資本金・出資金 | 　　　　　　　　　　　　円 |
| 従業員数 | 　　　　　　人 | 設　　　　　立 | 　　　　　　年　　　月 |
| 主たる業種 | □①製造業　□②卸売業　□③小売業　□④建設業　□⑤宿泊業　□⑥飲食業□⑦情報通信業　□⑧運輸業　□⑨サービス業　□⑩その他 |
| 業務内容の概要 |  |

**２．誓約**

(1)私（法人の場合は、代表者、役員又は実質的に経営を支配する者。以下同じ）は現在又は将来にわたって、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から５年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治運動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他反社会的勢力（以下「暴力団等反社会的勢力」という。以下同じ）に該当しないことを表明・確約します。

(2)私は現在又は将来にわたって、自ら又は第三者を利用して、①暴力的な要求行為、②法的な責任を越えた不当な要求行為、③取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為、④風説を流布し、偽計若しくは威力を用いて貴財団の信用を毀損し、又は貴財団の業務を妨害する行為、⑤その他これらに類する行為を行っていないことを表明・確約します。

(3)私が上記のいずれかを満たさないと認められることが判明した場合又はこの表明・確約が虚偽の申告であることが判明した場合は、本支援を中止されても異議を申しません。これにより損害が生じた場合でも、一切私の責任といたします。

(4)私は、私が暴力団等反社会的勢力でないことを確認するために、貴財団が行う調査に協力するとともに、必要に応じて本要請書に記載された情報を貴財団が専門機関（岡山県警察・公益財団法人岡山県暴力追放運動推進センター等）に照会することに同意します。

**３．支援を求める理由・内容**

|  |
| --- |
| **（１）現在の事業内容****（２）現在の組織体制図****※別紙などを添付していただいても構いません。****（３）将来ビジョン・目標について****（４）現在の経営上の問題点および課題（目標達成のために取り組まなければならないこと）****（５）専門家に求める支援内容・期待する効果****（６）事業推進体制（成長志向チーム）について** |
| **伴走支援への参画の依頼を予定する認定支援機関** | **機関名** |  | **支所・****支店** |  |
| **担当者氏名** |  | **担当者****ＴＥＬ** |  |

※当該伴走支援事業終了後も、事業者の方向性と課題を理解した支援機関から、継続して支援を受けられることが望ましいため、日ごろ支援を受けており、当該事業に参画できる認定支援機関があれば記入してください。